

地域医療連携だより

きずな



眼科

当科は、白内障手術や抗VEGF阻害薬の硝子体内注射を積極的に行っています。ご紹介いただいた患者さんは、病状が安定しましたら、速やかにご紹介元への経過報告と紹介に努め、当院と地域医療機関が連携して治療を進めていく方針です。

外来担当

外来日	月	火	水	木	金
午前	栗原 佐藤	栗原 佐藤	栗原 佐藤		栗原 佐藤
午後					伊藤 (第3)

眼科HP



外来担当表



スタッフ紹介

医師



栗原 大智

(くりはら だいち)

眼科一般

医師



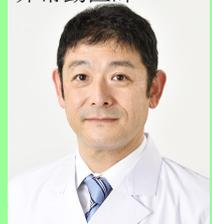
佐藤 佑

(さとう ゆう)

眼科一般

新

非常勤医師



山田 教弘

(やまだ のりひろ)

白内障

非常勤医師



伊藤 竜太

(いとう りゅうた)

小児眼科

積極的にご紹介いただきたい疾患

■ 白内障

当科での白内障手術は患者さんに配慮し、原則2泊3日の入院での手術を実施しております。手術では横浜市立大学附属病院眼科学教室の山田教弘准教授にもご協力いただき、過熟白内障など難症例の手術も積極的に行っております。

■ 抗VEGF阻害薬適応疾患

- ・加齢黄斑変性症
- ・網膜静脈分枝閉塞症
- ・網膜中心静脈閉塞症
- ・糖尿病網膜症による黄斑浮腫

上記疾患に対して、当科ではルセンティス®やアイリーア®, ペオビュ®など抗VEGF阻害薬を用いて硝子体内注射による加療を行っております。

■ 小児眼科

原則毎月第3週金曜日、小児眼科の伊藤竜太先生に専門外来を行っていただいております。斜視・弱視の治療を行っております。

また、脳神経外科や脳神経内科、形成外科など他科とも連携していますので、頭蓋内病変や眼瞼および眼窩周囲の疾患のご紹介もいただくと幸いです。

その他、ご不明な点はお気軽に当院にご連絡いただきご相談ください。

小田原地域看護連絡会を開催しました

6月23日（水）にWEBで第45回小田原地域看護連絡会を開催しました。

今回のテーマは「コロナ禍の現状と課題」とし、病院・訪問看護ステーション・特別養護老人ホームの視点から、それぞれの取り組みについてプレゼンテーションを行いました。

次回は来年2月にWEBでの開催を予定しております。詳細が決まりましたら、改めてご連絡いたします。



テーマ「コロナ禍の現状と課題」

(司会 小田原市立病院 地域医療連携室 中川 小枝)

① 病院での取り組み

2020年5月に院内クラスターが発生し、感染対策を徹底しました。一時は退院後の受け入れ先が減少し、退院調整に難渋しましたが、関係機関の協力を得ることができました。現在はタブレット端末を活用し、家族や関係施設に動画で療養状況を説明するなど、情報共有に努めています。

小田原市立病院 地域医療連携室 甲斐 綾子

② 訪問看護ステーションでの取り組み

検温・換気・マスクの着用など本人・家族で自己管理でき、継続できるように感染予防を行い、訪問看護を実施しています。外出の機会が減少し、ADLの低下を招いてしまうことありますが、自宅で重症化・急変することなく病院へ繋げていきたいです。

小田原医師会訪問看護ステーション 小林 順子

③ 施設での取り組み

利用者を感染させない、職員自身が感染しないことを目的とし、法人全体で研修会・伝達研修・マニュアル作成を行っています。健康状態を維持するためICTを活用した面会、非対面式でレクリエーションなどを実施し、看取りケアでは丁寧な説明を心がけています。

特別養護老人ホーム潤生園 東森 由香

9月になり、新型コロナウイルス感染者数は減少しておりますが、予断を許さない状況は続いています。圏域内での体制を確保するには地域の連携が重要です。感染対策を行いながら、引き続き連絡会を実施してまいります。

透析室だより

透析室と病棟の一元化に向けた取り組み

透析を行っている患者さんに対して連携した継続看護が提供できるように、透析室と病棟の一元化に向けた取り組みを行っています。現在、定期的透析が行われない日に透析室の看護師が病棟に向き、透析患者さんの状況を把握し、必要に応じ支援を行っています。その支援内容を病棟の看護師と共有し、より良い看護の提供ができることを目指しています。

血液透析は患者さんへの生活指導や食事指導、シャント管理など、透析看護としての細やかな配慮が必要となります。血液透析は看護の重要性が高い分野でもあり、透析室スタッフと病棟スタッフがお互いに協働し、透析患者さんへのサポート体制を構築しています。

透析室看護師からのメッセージ

私たち透析室看護師は、透析が安全に行えるよう、基礎となる自己管理指導を行っています。新たに7月から非透析日に病棟での活動を開始しました。患者さんに今まで歩んできた経過を話していただき、治療への思いや希望を共有し、個々の退院生活に向けた自己管理指導・支援を目指しております。



慢性腎臓病療養指導看護師
透析技術認定士
糖尿病・腎臓病療養指導士

藤田 麻理